



第 33 号

R3.3.22

文責 倉迫

建学 145 年

**「新しい学校生活様式」の本年度**

全校文集「五福」の冒頭部分を引用します。

コロナ禍の中、2か月間の休校から本年度がスタートした。就任式・始業式もこれまでとは違う ZOOM を使った式へと変化した。入学式も同様、みんなが一斉に集まることは避け、教室での出会いになった。このようにして、これまでとは違う「新しい学校生活様式」での学校生活が始まった。

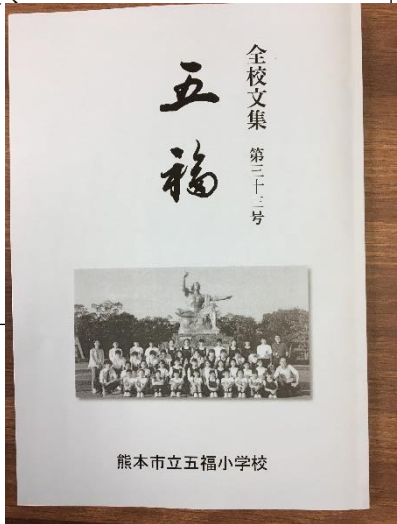
しかし、学校での生活の仕方や学校行事の中止や内容の変更があろうとも、全校文集「五福」は、少し趣を変えつつも、今までの歴史を大切にしながら編集を行い発刊する。この全校文集の中には、子どもたちが一年間の思い出を振り返り、もっとも心に残ったことを紡ぎ、学びの喜びを感じながら、各学年で体験してきた大切な思い出の数々が詰まっている。世の中には、Society5.0 時代・自然災害・感染症・自然環境の大幅な変化・少子高齢化等、課題は山積している。先行き不透明な予測不可能な時代。不確実な社会を生き抜くためには、どのような力が求められるのだろう。OECD アンドレアス・シュライヒャー教育スキル局長は、「好奇心や想像性、強靭さ自己調整力。他者の価値観の尊重。逆境に立ち向かう力。」が必要と説く。未来社会の子どもたちには、自ら考え主体的に行動し、多様な人々と協働しながら、持続可能な社会へと、責任をもって変革していく力が求められる。今後もそのような力を育み続ける五福校の学校教育でありたいと願う。

学校生活が「新しい学校生活様式」に変わろうとも、大切に守り続けていきたいものがある。それは、145年間もの長い間、脈々と受け継がれてきた「五福精神」である。地域・保護者の方とふれあい学ぶ環境である。「五福精神」を根底におき、新しい学校生活を子どもたちの創造力を生かしながら作っていく、そんな五福校でありたいと願う。

この全校文集「五福」は、時代と共に移り変わる五福校の姿や子どもたちの姿を、これからも大切に見守っていくに違いない。

五福校の歴史と伝統は、全校文集「五福」の中に確実に刻まれている。

子どもたちが精一杯の力で書いています。どうぞ目を通していただき、本年度の学校生活について親子で振り返っていただけると嬉しいです。



## スマイルプロジェクト第5弾



コロナ禍の中での学校生活に笑顔を絶やさないようにしたいという思いから始まった「スマイルプロジェクト」。とうとう第5弾までやってのけました。第5弾は、「6年生と遊んで、思い出を作り、ありがとうを送ろう大作戦」と名うっての実践です。企画運営そして実践まとめと、PDCA サイクルを生かした素晴らしい実践です。企画委員会の皆さん、本当にありがとうございました。

## いよいよ卒業式

いよいよ明日、3月23日（火）は、令和2年度の卒業式です。本年度も来賓の皆様、在校生の参加はできませんが、卒業生を温かく送り出し、門出を祝いたいという思いはいささかも変わりません。これまで卒業生は練習を重ねてきました。19日（金）の予行には、5年生も参加し卒業生の姿をその目に焼き付けていました。たくさんの方の思いが凝縮された素晴らしい卒業式になると確信しています。

令和2年度、2か月間の休校というスタートになりましたが、子どもたちは学校生活を明るい笑顔で乗り越えてくれました。保護者の皆様には、五福校の学校教育活動にご理解ご協力をいただき、本当にありがとうございました。